

経営比較分析表（令和4年度決算）

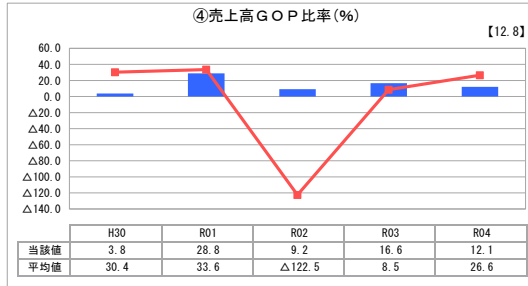
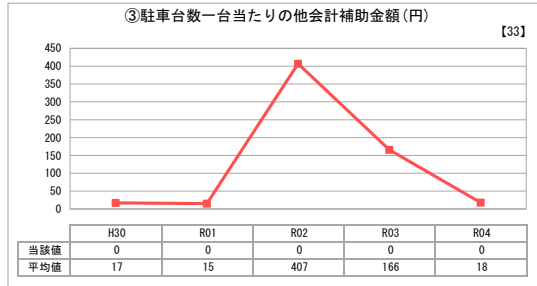
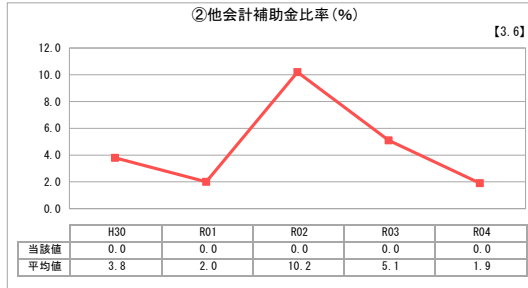
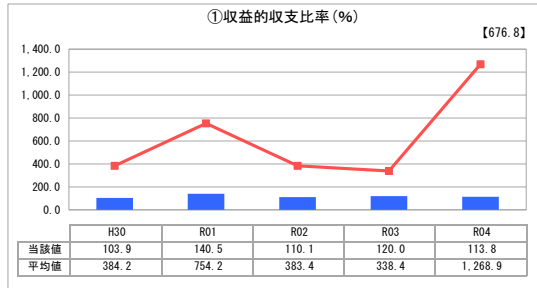
静岡県焼津市 焼津市小石川駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	広場式	52	

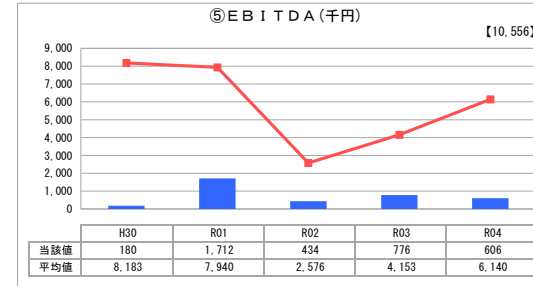
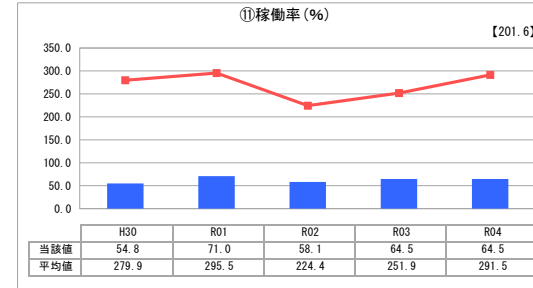
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	無	1,630
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
62	150	代行制

グラフ凡例
■ 当該施設値（当該値）
— 類似施設平均値（平均値）
[] 令和4年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

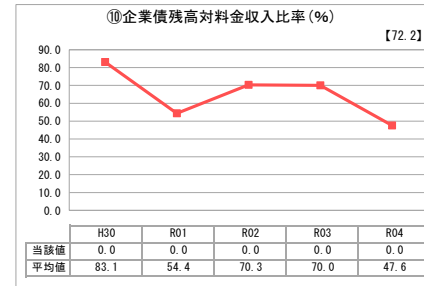


⑦敷地の地価(千円)

41,329

⑧設備投資見込額(千円)

0



分析欄

1. 収益等の状況について
令和元年度に上限料金を導入したことで、収入は増加した。令和2年度には新型コロナウイルス感染症の影響から、収入は約2割減少した。焼津駅北口駐車場の約5割減少と比較すると、影響は小さく抑えられている。

①収益的収支比率、④売上高GOP比率、⑤EBITDAはいずれも、コロナ前のH30年度を上回る水準となっている。また、②③に関係する他会計からの補助金がない健全な経営状況である。今後も電子マネー精算のPRや、周辺商業施設等の駐車場としての利用呼びかけなど、利用促進策を行い収益増加に努めていく。

2. 資産等の状況について
駐車場事業実施に必要な機械やシステムについては、指定管理者が設置し、適切に管理・保守を実施している。現時点で市として新たな設備投資の計画はない。

3. 利用の状況について
近隣に開業した子育て支援施設「ターントクルこども館」と連携した利用促進策により短時間の利用がしやすくなったことで、利用者数は前年度より増加し、①稼働率は前年度を上回り、新型コロナウイルス発生前のH30年度の水準を上回っている。
具体的には、前年度に対し、利用台数は176台の増（プラス1.2%）、収入は340,329円の増（プラス7.3%）となっている。
引き続き、上限料金や電子マネー精算のPRや、減少した定期利用者の回復に努め、利用促進を行っていく。

全体総括
小石川駐車場については、令和元年度からの上限料金制を導入したことから、焼津駅や近隣商業施設の利用者の一時駐車施設として、また、近隣の民間事業者及び住民の定期駐車施設としての需要が高まり、利用者の定着が見られる。このため、新型コロナウイルスによる利用者減及び収入減も小幅に留めることができたと考えている。
収容台数が62台と多く、稼働率にも余裕があることから、定期利用の呼びかけ及び近隣商業施設利用の駐車場としての周知をさらに努めるとともに、近隣の価格動向を注視し、指定管理者の経営ノウハウを活かした業務改善や、支払い方法などの利用促進策により、収支均衡による経営を継続していく。

経営比較分析表（令和4年度決算）

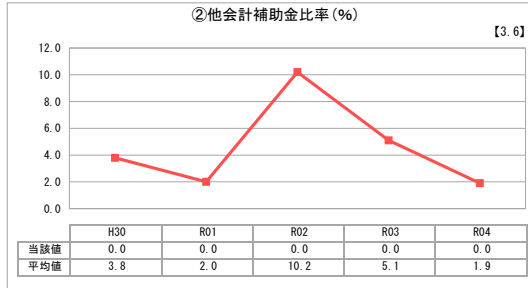
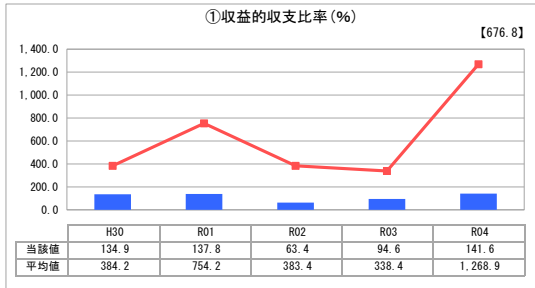
静岡県焼津市 焼津市駅北口駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	広場式	47	

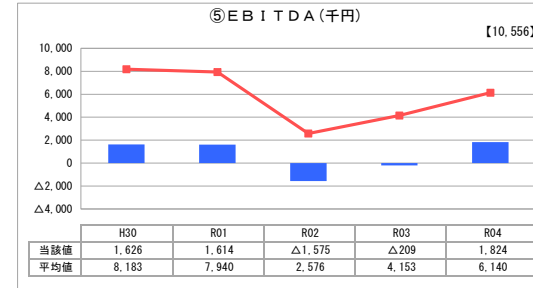
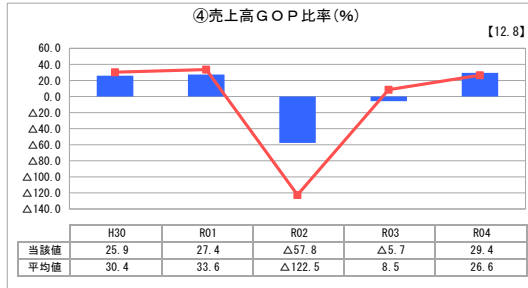
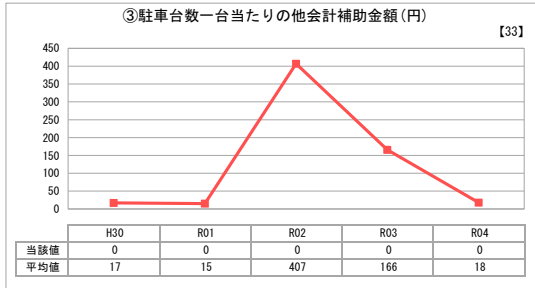
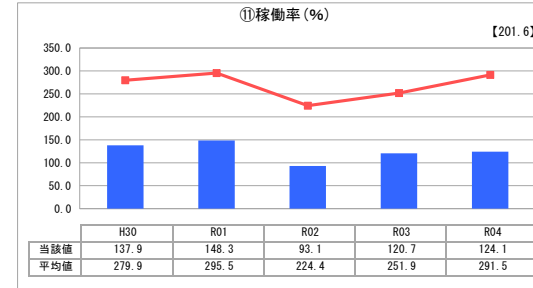
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	491
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
29	150	代行制

グラフ凡例	
■	当該施設値（当該値）
—	類似施設平均値（平均値）
[]	令和4年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



分析欄

1. 収益等の状況について

前年度に利用者及び使用料収入が大きく減少したため、収支改善策として令和3年度に上限料金制を導入した。
その結果、①収益的収支比率は前年から増加し140%以上まで回復し、④売上高GOP比率、及び⑤EBITDAについても、コロナ禍前の平成30年度を上回る水準となっている。②③に關係する他会計からの補助金がない健全な経営状況である。
近隣の民間駐車場においては料金の価格変動が随時行われており、今後も周辺の料金動向に注視しながら、収支改善に努め経営を行っていく。

2. 資産等の状況について

駐車場事業実施に必要な機械やシステムについては、指定管理者が設置し、適切に管理・保守を実施している。現時点で、市として新たな設備投資の計画はない。

3. 利用の状況について

令和3年度に実施した上限料金制導入等の収益改善策の結果、収益状況と同様に、①稼働率も増加することとなった。短時間の利用者だけでなく、長時間の利用者にも対応できるようになった効果と考えられる。
具体的な利用状況としては、前年度に対し、利用台数は5,190台の増（プラス40.0%）、収入は2,536,160円の増（プラス69.1%）となっている。
引き続き、上限料金制のさらなる周知とともに、電子マネー精算のPRや、新紙幣への対応などを実施し、利用促進に努めていく。

2. 資産等の状況

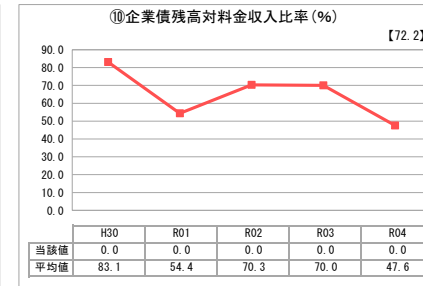


⑦敷地の地価(千円)

27,627

⑧設備投資見込額(千円)

0



全体総括

駅北駐車場は利用者数の減少傾向が続いていた中で、新型コロナウイルスの影響も加わり収入が大きく減少していたが、令和3年度に実施した上限料金制導入により、利用者数は増加を見せ、本年度は利用者数がコロナ禍前を上回る結果となった。焼津駅北口に最も近いという立地を活かし、料金の周知等の利用促進に取り組んだことで、鉄道を利用する長時間の駐車といった一定の需要を新たに打ち込むことで収益増となり、他会計からの補助を受けずに経営を維持している。
今後も近隣の価格動向に注視するとともに、指定管理者の経営ノウハウを活かした業務改善や、支払い方法などの利用促進策により、収支均衡による経営を継続していく。